



「命の道」延伸！ 四万十町まで 自動車道が延伸しました

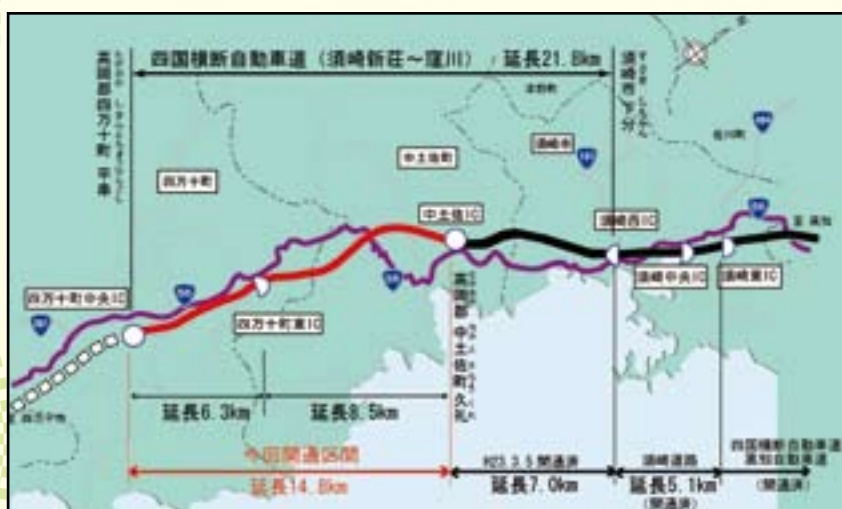
12月9日、高知自動車道中土佐IC－四万十町中央IC（14.8キロ）が開通しました。

当日は、窪川四万十会館で、高瀬町長や尾崎知事、地元関係者、国会議員、自治体関係者などが参加し、開通式典を行いました。

その後、四万十町中央IC付近で窪川中学校生徒によるプラスバンド演奏、餅投げ、通り初めが行われ、多くの地域住民の方々にぎわいました。

この延伸により、難所とされていた久礼坂が克服され、中土佐－四万十町間は約9分の短縮となりました。高知市－四万十町は約1時間で繋がります。

県西部に新たな可能性を広げる高速道路延伸。ドライバーの負担軽減や安全・安心の効果だけでなく、救急や防災面での役割も期待されます。



との声もあります。

ここからが四万十町の魅力の見せどころであり、山・川・海自然と人が元気な町「四万十町」に、たくさんの人が訪れたくなるようなまちづくりに取り組むことが重要です。

（関連記事 定例会町長行政報告15ページ）

高瀬町長も「まさに命の道、絆の道の延伸。地域の底上げに大きな弾みがつく」と挨拶をしました。

開通後の高速道路を利用した住民の方からは「須崎まであっという間！」「久礼坂を通らずに済むので、なんと楽」「たくさんの人に四万十町の美味しいものを食べに来てほしい」との声が聞こえました。その反面、商店街からは「町外にお客が流れないか心配」

